

一般会計歳出合計 **343億4,300万円**

令和6年度決算がまとまり、9月に開かれた第3回定例会において認定されました。皆さんが納めた税金が、この1年間でまちづくりにどう使われたのか、一般会計を中心に、概要をお知らせします。



健康・医療・福祉分野

すべての人が生き生きとした人生を送るまち



誰もが健康で幸せな暮らしができる社会を構築するために、安心して医療・福祉を受けられる体制づくり、子育てしやすい環境づくりなどに取り組みました。

●妊産婦と乳幼児に医療機関検診を実施する
4145万円

●乳幼児集団健診を実施する
509万5千円

●民間保育園の運営を支援する
21億6056万5千円

妊産婦や乳幼児への健診等を実施しています。令和6年度は子どもの成長をサポートするため、新生児聴覚検査への助成、3歳児集団健診での屈折・眼位検査を継続して行い、また、新たに1か月児健診を開始しました。



民間保育園の運営や「病児・病後児保育」「延長保育」「二時預かり」などの保育サービス、施設整備等の支援を行いました。また、保育士不足の解消を図るために市独自の保育士等処遇改善補助金制度を平成30年度より実施しています。

教育・文化分野

未来を拓き、地域を担う人が育つまち

時代の変化に対応した教育の推進、教育格差の解消に向けた取り組み、また市民の誰もが豊かに学べる機会の充実などを図りました。



●おくの義務教育学校で特色ある教育活動を推進する
441万9千円

●おくの義務教育学校一体型校舎を建設する
19億271万2千円

●おくの義務教育学校一体型校舎供用開始に向け準備する
1億5557万円

児童生徒数の減少が進む奥野地区の小中学校において、令和2年4月からおくの義務教育学校が開校となり、国際理解教育の充実や地域の特性を活かした魅力ある学校づくりを進めました。令和5・6年度にかけて既存校舎を一体型校舎として整備。令和7年4月から新校舎が開校となり、1年生から9年生まで全校児童生徒が同じ校舎での生活をスタートしています。

●ハートフルクーポン券事業を支援する
9646万円

魅力ある仕事とにぎわいの創出を目指すために、地域産業の振興につながる支援などに取り組みました。



しごと分野

魅力ある「しごと」とにぎわいが生まれるまち



市民共創分野

みんなの創意工夫で未来をつくるまち

市民が共創し、よりよいまちを目指すために、市民が地域づくりに参加しやすい環境づくりなどに取り組みしました。



●行政区集会所の整備や管理に対する助成をする
2637万6千円

行政区活動の拠点となる集会所の整備・管理にかかる経費の一部を補助することで、行政区の負担軽減と施設整備を促進し、円滑な行政区活動の推進と充実に努めています。

令和6年度は主なものとして、大中・中央行政区民会館の建替えや井ノ岡行政区公会堂の屋根・外壁塗装工事などに対する補助を行いました。



Pick Up!

令和6年度に取り組んだ主な事業

令和6年度は、2025年3月までを基本計画期間に基づき、福祉・教育・産業振興・防犯・環境など子育て・教育・就業支援など多種多様なニーズ

とした「牛久市第4次総合計画第1期基本計画」異なる分野間の効果的な連携を図り、出産・に対し、さらなる充実に努めました。

環境分野

豊かな自然を守り育てる優しさのあるまち

豊かな自然を守り、次世代へ継承していくため、循環型社会(ゼロカーボンシティ)の実現などに向け取り組みました。



●ゼロカーボンのまちづくりを推進する
271万8千円

ゼロカーボンシティの実現に向けて取り組んでいます。令和3年度から環境配慮型機器導入補助金を見直し、家庭用燃料電池システムおよび定置用リチウムイオン蓄電システムの設備設置に補助を行いました。



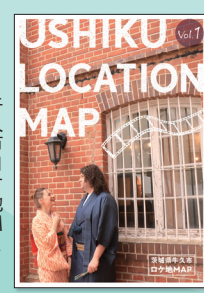
ゼロカーボンシティ認定書



●牛久市のシティプロモーションを行う
2448万3千円

●これまで以上に「選ばれるまち」「住み続けたいまち」であり続けるため、牛久市の魅力を掘り起こし、効果的なプロモーションを行うことで、魅力度の向上を図っています。

令和6年度は、民間事業者によるプロモーションコンサルティング調査やシティプロモーション専用ホームページの改修、TVアニメとのコラボレーション企画を市内事業者と協力しながら展開、また、フィルムコミッションで積極的に撮影を誘致しました。



牛久市ロケ地MAP

行政運営分野

行政が市民に信頼されているまち

より信頼されるまちを目指し、長期的な視点で安定した公共サービスの提供に取り組むとともに、さまざまな情報発信などに積極的に取り組みました。



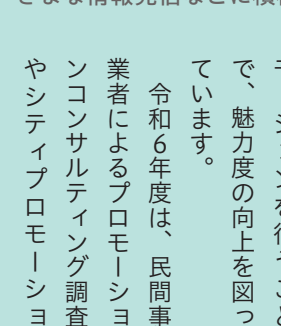
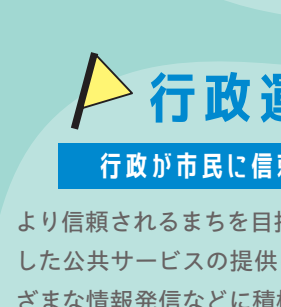
●コミュニティバスの運行を管理する
7106万9千円

●デマンド型公共交通サービスを実施する
4055万6千円

●近隣市町村との広域交通網を構築する
7533万4千円

担当/経営企画部

コミュニティバスが、乗合タクシーとして、地域連携公共ライドシェアを運行しています。また、高齢者や運転免許を持たない交通弱者等の移動手段を確保する



歳出

343億4,300万円

前年度に比べ26億3,500万円、8.3%増加しました。

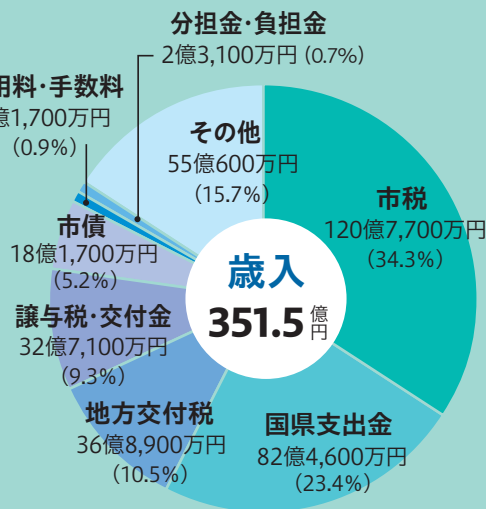
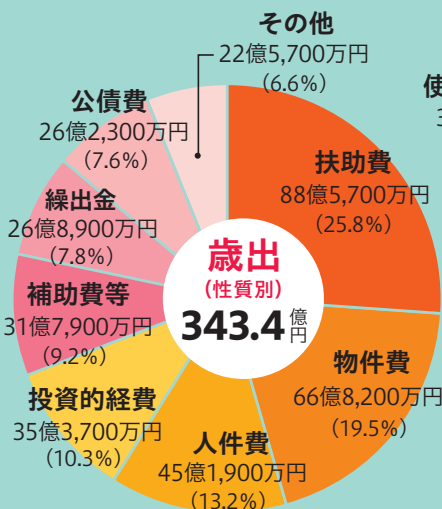
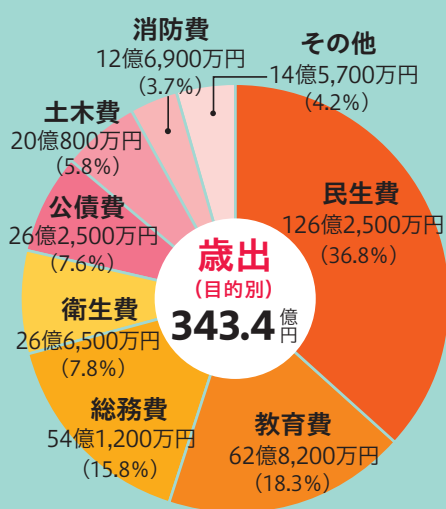
歳入

351億5,400万円

前年度に比べ16億5,500万円、4.9%増加しました。

令和6年度決算は、地方交付税の増額や、おくの義務教育学校一体型校舎の建設工事などにより、歳入歳出ともに昨年度より増額となりました。また、市税は1億4,000万円の減額となりました。牛久市の借金である市債残高は、令和6年度末は前年度比で6億6,500万円減少している一方で、貯金である基金残高は、前年度比で2億7,400万円増加しました。

今後見込まれる、公共施設の老朽化対応等に備え、計画的な市債管理や基金の積み立てを行っていきます。



市民一人当たりの
歳出内訳 (一般会計)

市民一人当たりが負担したお金(市税)
144,458円 (昨年度145,581円)

※市税総額 ÷ 住基人口 (令和7年3月31日時点)

市民一人当たりに使われたお金

410,774円 (昨年度377,839円)

※歳出総額 ÷ 住基人口 (令和7年3月31日時点)

民生費151,012円／教育費75,141円／総務費64,735円／衛生費31,872円／土木費24,019円／消防費15,176円／公債費31,393円

● 特別会計

会計名	歳入総額	歳出総額
国民健康保険事業	72億1,400万円	72億1,400万円
青果市場事業	1,900万円	1,900万円
介護保険事業	69億4,100万円	69億4,000万円
後期高齢者医療事業	26億7,000万円	26億7,000万円

一般会計と区分して経理を行う4つの特別会計についても、それぞれ健全な財政運営となるよう取り組んでいます。

● 企業会計

会計名	収益的収入および支出	
	収入	支出
	17億7,700万円	16億700万円
	資本的収入および支出	
下水道事業	収入	支出
	7億700万円	10億700万円

資本的収入額(翌年度へ繰り越される支出の財源に充当する額4,600万円を除く)が資本的支出額に対して不足する額3億4,600万円は、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額1,100万円、当年度分損益勘定留保資金3億2,300万円および未処分利益剰余金1,200万円で補てんしました。

なお、皆様のご理解とご協力のもと、令和6年4月からの料金改定に伴い下水道使用料収入が増加し、大幅な収支の改善が図られました。その結果、令和6年度決算において、企業の健全性を示す指標である「経費回収率」(事業収入÷事業費用×100)が100%を超え、運営が使用料収入で賄える状態となりました。引き続き、下水道施設の安定した維持管理と持続可能な運営に努めていきます。



令和6年度決算について
詳しい情報は市ホーム
ページをご確認ください